

東海第二 審査会合指摘事項に対する回答整理表(技術的能力1.0.2(アクセスルート))

2017年10月11日
日本原子力発電株式会社

日付	番号	カテゴリ	資料の該当箇所	コメント内容	対応状況	回答
2017/10/5	516-1		審査会合SA回答資料No91	可搬型設備用軽油タンクについて、地下水位を地表面に設定したケースで再評価すること。	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-1,1.0.2-73】 可搬型設備用軽油タンクはSs機能維持設備のため、浮き上がりが生じない設計とします。
2017/10/5	516-2		審査会合SA回答資料No91	高台の地下水位を地表面にしたことにより、浮き上がり等の影響を受ける物を定量的に示すこと。	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-2,1.0.2-71,72,108~140】 前回条件(地下水位を観測記録の最高水位分布)から地表面に変更したことによる高台部及び高台以外の浮き上がり等の評価結果の比較を整理し、まとめました。
2017/10/5	516-3		審査会合SA回答資料No91	高台浸出面と観測記録の差分が5.5mである根拠を示すこと。	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-3,1.0.2-別紙41】 高台浸出面と観測記録の差分5.5mの根拠を示しました。地下水位については、施設設計の保守性を考慮し、地下水位を地表面に設定しました。
2017/10/5	516-4		審査会合SA回答資料No91別紙1 水源変更	西側淡水貯水設備から送水手順及び時間成立性を示すこと。(変更の合理性を併せて)	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-4】 水源変更および中型ポンプの運用も含め、総合的に西側淡水貯水設備へ変更前後に対する評価を整理しました。
2017/10/5	516-5		1.0.2別紙9-8	西側淡水貯水設備から原子炉建屋までの常設代替高圧電源装置用カルバート(トンネル部)において、水配管と電源ケーブルが共存することについて、悪影響が無いことを示すこと。	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-5】 地下トンネル内にケーブル及び水配管が共存することに対して、悪影響防止を考慮した設計対応について整理しました。
2017/10/5	516-6		審査会合SA回答資料No91参考	東 I サービス建屋の形状変更については、アクセスルート確保の観点から効果的な方法を検討すること。	今回ご説明	【審査会合SA回答資料No.516-6,1.0.2-別紙15-19】 東 I サービスで建屋の形状変更については、アクセスルートに影響を及ぼさないような構造物高さとなるようにします。